

自然はおそろしい
 早川中学校 一年 加藤 小冬
 私のすんでいる所は雨が降ると土砂災害が
 よくおこります。土砂災害はたくさんひが
 いを残していくのでとても怖いです。私も
 台風ですごく体験をしました。小学四年生の
 時、私のすんでいる地区が水びたしになりま
 した。川から水がたくさんあふれてきて私た
 ちもひなんしました。私のお父さんが地区の
 大人の人たちが水路の土砂を出したりして
 ました。私は自然はおそろしいと思いました
 いくつるか分からない災害に立ち向かうのは
 すごいいことだと思いました。それから次の日
 は土砂が水が道にたくさんあり、買い物な
 にもしばらく行けなくなりました。地区の
 人の人たちが早く復旧できるように協力して
 ういをしてくれました。また、床下浸水の家
 が庭の土砂が木などが台風のためあとを
 残していきました。交通手段もふべんな
 っていて、学校へ行くの、買い物に行くのが大

変でした。またこんなことがあつては困ります。人の命までもがうばわれることもありません。私はそんなことで命をおとしたくありません。なので私の地区は人が少ないですが、災害への対策をもつとして、かりして欲しいと思います。台風が来るたびに県道が止まるのはしかたないと思います。でも住んでいる所がなくなつてしまふと大変です。なので小さな地区、町だからこゝろより対策を強めて欲しいです。そして

「対策したからだいじょうぶ。」
「ではなく」

「次は何をしたらよいか。」
と、住人一人一人の考え方も変えていったらさらに良くなると思います。だけれかが、かくれるではなく、自分のことは自分でやること一人一人が心がけて欲しいです。

先日、広島で大きな土砂災害がありました。あれをテレビで見ているところにおきたら、もし自分のところにおきたら、

と考えるとこわくなりました。いきなりの雨
に加えあんなものがくると思うだけでゾッ
とします。たくさんの方の命をうばった広島
の災害はやはり、たくさんの方のつめあを
残していったと思います。こわい
な、次の上砂災害にむけて、対策を始める
と思います。そう思うと、今までの自分
がともなさけなく感じました。台風が
来ると学校休みになるかな。ひな
んするとみんなに会える。と
思っています。でも広島のような大きな
災害が来たら、そんなよゆうはないと思
います。それに大人の人はいないと思
います。台風はやだ。

と言います。今、その意味がよく分かりました。台風のと き、私たちがあんなによゆうにできるのは、大人の人たちが私たちのため、みんなのためにがんばっているからです。もし大人の人たちが、正しく対応していなかったら、私たちの命はなかったのかもしれない。なので、助けを求めたい。皆さんのために、感謝の気持ちを思っています。

ありがとうございます。

そう思うだけでも、しっかりと災害に向き合っていると思います。きっとそういうことがある。次の、これからの対応になが、っていくのだ。と思います。

最後に、私たちが大人にならば、私たちがみんなを守らなければいけません。そのような時にならば、どう対応するかは、今どうするかによつて変わります。どうするかを決めるのは自分自身ですが、私は、感謝の気持ちを持ち、今の自分にできるせいはいはいのことをして、しっかりと災害に向き

合
っ
て
い
き
た
い
と
思
い
ま
す
。